

お世話になっております。

「総務省地域力創造アドバイザー」を拝命しております。

地方創生のアドバイスをする国の人材派遣事業です。総務省に登録されています。

この度、総務省から新たな通達をいただきましたのでお知らせいたします。

地域づくりのお手伝いに現地に伺う国の制度ですが、オンラインでのアドバイスも可能となったとのことです。どうかご利用いただければ幸いです。

総行人第3号 令和2年10月16日

各都道府県市区町村担当部長 様(地域活性化施策担当者)総務省地域力創造グループ
人材力活性化・連携交流室長(公印省略)

地域力創造のための外部専門家活用に要する経費への地方財政措置について

平素より地域力創造施策に関しましては、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

総務省では、市町村が地域力創造のための外部専門家(通称「地域力創造アドバイザー」)を招へいして、地域独自の魅力や価値を向上させる取組について地方財政措置を講じております。

対象団体は「定住自立圏を実施する市町村又は条件不利地域を有する市町村であり、かつ、地域独自の魅力や価値を向上させて地域の課題解決を図るため、市町村外から年度内に延べ10日以上又は5回以上、地域力創造のための外部専門家(地域人材ネット登録者に限る。)を現地指導などに活用した市町村」としておりますが、外部専門家の現地指導にはリモート対応による方法も含まれるので改めて周知いたします。

各都道府県におかれましては、貴都道府県内の市町村にもこの旨周知していただきますようお願いいたします。

(担当)総務省地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

早川専門官、小沼係長、河合事務官 E-mail jinzai.renkei@soumu.go.jp

電話 03-5253-5392(直通) <https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>

総務省地域力創造アドバイザー・内閣官房地域活性化伝道師
(食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー)

金丸弘美

140-0003 東京都品川区八潮5丁目6-37-205 電話・FAX 03-6876-3351

メールアドレス kanamaru.hiromi@cameo.plala.or.jp

●マネジメント事務所:(有)万来社 マネージャー:鈴木ゆう子 E-Mail yuko@banraisya.co.jp

TEL 06-6348-0357 FAX 06-6348-0356

●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

内閣府の人材派遣事業にも金丸弘美は登録されています。ぜひご利用ください。

国の人材派遣事業:金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にかがうことができます。

●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師

地域アドバイスを実施するもの。内閣府からも担当者がきます。現地の取り組みを観て、地域の方に集まっていただき、各地の事例や、今後の展開を協議するもの。1、3回うかがうこととなります。費用は内閣府から出ます。

内閣官房 地域活性化統合事務 内閣府 地域活性化推進室

Tel : 03-5510-2469 FAX : 03-3591-1974 内閣官房の登録人材一覧

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/genki/090707/090707dendoshi.pdf>

●食からの地域づくりが雑誌で特集されました！

①『調査研究情報誌「ECPR」』Vol.45号(発行(公財)えひめ地域政策研究センター)

<http://www.ecpr.or.jp/> (2020年10月号 10月1日発行)

「地域の食をブランドにする」(特集7ページ) 文・金丸弘美

記事は「ECPR」ホームページから見れます。<http://www.ecpr.or.jp/products/products-ecpr/>

電話申し込みで1冊無料郵送。電話 089-926-2200



②季刊「栄養教諭」全国学校栄養士協議会編集(日本文教出版社)

<https://www.nichibun-g.co.jp/data/education/eiyou/>

第61号秋号(2020年10月1日発行)

テーマ「食」が地域に持続可能な経済を生む」(特集6ページ) 文・金丸弘美



③「月刊NOSAI」(公益社団法人全国農業共済協会)11月号(11月1日発売)

http://www.nosai.or.jp/nosai_kasou/syuppan.html

特集「地方の可能性発信」

農村振興(地方創生)は人材育成の投資と仕事づくり(11ページ) 文・金丸弘美

たなべ未来創造塾 ～ローカルイノベーターたちが地域を救う～ (6ページ)

文・田辺市企画部たなべ営業室 鍋屋安則

●購読申し込み=全国農業共済協会広報部：経営室 (電話番号 03-3263-6413 FAX03-3221-7978)

購読料：460円(税込み)



④月刊『クリンネス』(一般財団法人 環境文化創造研究所)

<https://www.kanbunken.org/> (2021年2月号 1月1日発売予定)

テーマ「ウィズコロナ時代の地方創生」巻頭特集 6ページ 文・金丸弘美

<https://www.kanbunken.org/publication/cleanness/>



●食の雑誌「味の味」(アイディア)で「地食が面白い」を連載中です。

<http://www.ajinoaji.com/> 2020年10月号(10月1日) 連載 81

タイトル「イタリア料理を世に知らしめた本が日本語版で登場」 文・金丸弘美

味の味



●「月刊学校の食事」(学校食事研究会)11月号(10月10日発売) 長男・金丸知弘の好評連載

<https://www.gakkounosyokuji.com> / 連載:その43 金丸知弘が見た食の目

「130年前の料理本イタリア料理の原点 ペレグリーノ・アルトゥージ「厨房の学とよい食の術」

金丸知弘 <http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/profile/index.php?&id=2>



●WEB で好評配信中です！「地産地消給食」の連載がスタート。毎週アップ予定です。
人と地域を元気にする地産地消の給食改革！

【第1弾＝岡山県笠岡市】医療法人緑十字会笠岡中央病院

https://note.com/godo_shuppan/n/n204e2b09fae7



●好評連載中！食の現場で活動をする女性を紹介 WAN サイト「金丸弘美のニッポンはおいしい！」

WAN (Women's Action Network) は社会学者・上野千鶴子先生（東大名誉教授）が理事長のネットワーク。 <https://wan.or.jp/ueno> 連載はサイトから無料で読むことができます。

<http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/yotei/yoteidetail.php?&no=768&a=2017>

●最新号「コロナ禍のもとで:彼女たちのいま～」 <https://wan.or.jp/article/show/9013>



●電子版で配信「女性を生かさない農業に未来はない！」上野千鶴子さんの提言

「農業協同組合新聞」特集:JA 全国女性大会」で掲載(2020.01.23)。

<https://www.jacom.or.jp/noukyo/tokusyuu/2020/01/200123-40151.php>

記事の中で連載「金丸弘美のニッポンはおいしい!」のことを取り上げていただいています。

- 豊かな住まいと暮らしや町づくりを形にする全国の実践事例を紹介 好評連載
住生活産業総合情報誌「ハウジングトリビューン」(創樹社) サイトで読むことができます。

<https://htonline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/>



- 発酵食品がいま再び脚光を浴びているワケ(「月刊東京人」WEB版配信)

<https://toyokeizai.net/articles/-/322309>

甘酒、ヨーグルト、キムチ、お酢などを始め、納豆、ぬか床で漬ける糠漬けなど、発酵食品の専門店も生まれるほどの人気に。腸内環境をよくして免疫力を高めると注目されている。



【金丸弘美 特別寄稿】もっと先の未来への歩み(合同出版) WEB版で配信中です。

- 地域に若者の事業を生み出す和歌山県田辺市「たなべ未来創造塾」

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n33535.html>



- イタリアの山村に広がる農村観光アグリツーリズム

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n34744.html>



●福井の蕎麦のブランドをプロモーションする

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n35062.html>



●コロナ禍に起きている若者たちの関心・需要の変化

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n36166.html>



●イタリア料理を世界に知らしめた本が翻訳され登場

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n37340.html>



●「地域の食をブランドにする」

<https://www.godo-shuppan.co.jp/news/n37499.html>



●家族は9年間徳之島で過ごしました。妻の両親の故郷です。
徳之島での活動のインタビューが「離島経済新聞」に出ています。

【島 Interview | 訊く】金丸弘美さんインタビュー「島にあるものが素敵なんだ」

<http://ritokey.com/article/interview/7471>



「ゆるしい島のスローライフ」(学研)

金丸弘美著/絵・唐仁原教久/写真・阿部雄介/推薦・小泉武夫

金丸弘美の好評の食と地域づくりの本



『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK 生活人新書) 15刷り

『地域の食の食をブランドにする! 食のテキストを作ろう』(岩波書店・岩波ブックレット)

『食にまつわる55の不都合な真実』(ディスカヴァー携書) 3刷り

『田舎の力が未来をつくる!ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革』(合同出版)

『幸いな田舎のつくりかた 地域の誇りが人を繋ぎ、小さな経済を動かす』(学芸出版) 4刷り

『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』(角川新書)



『実践! 田舎力ー小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)

『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店)

『えんやー写真集・唐津くんち』(家の光協会)

『給食で育つ賢い子ども』(ソトコト新書)

『美味しい田舎のつくりかた: 地域の味が、人をつなぎ、小さな経済を耕す』(学芸出版)

- 「地方創生カレッジ」各地で試みてきた食のブランド事業が番組となりました。
【地方創生カレッジ 金丸弘美】で（検索）し登録すれば無料で観ることができます。

好評配信中！「地域資源を生かす幸せな田舎の作り方～小さな経済の地域力・田舎力～」

<https://chihouseisei-college.jp/e-learning/basic/industrialization/127.html>

第1週／ユニット1 食のテキスト化から創るブランディング（動画：6本、合計：56分）

高知県中土佐町「大野見エコロジーファーマーズ」。高知県農業創造人材育成事業。

大分県竹田市「サフラン」のテキスト化とワークショップなど。

第2週／ユニット2 食をプロモーションする（動画：6本、合計：55分）

茨城県常陸太田市「常陸秋そば」。岐阜県高山市「宿雛かぼちゃ」。秋田県能代市「能代のネギ」など。

第3週／ユニット3 個性を育む味覚ワークショップ（動画：6本、合計：61分）

個性を育む「味覚の授業」。大学での体験授業「牧場の料理会」。フランスでの味覚ワークショップ。

茨城県小美玉市での食のワークショップ。兵庫県豊岡市「コウホリ育む米」など。



第4週／ユニット4 農村宿泊と観光アグリツーリズム（動画：6本、合計：66分）

農村観光とアグリツーリズム。スローフードとプロモーション事業。イタリアの料理専門学校 ICEF



金丸弘美 食総合プロデューサー。

総務省地域力創造アドバイザー。内閣官房地域活性化応援隊地域活性化伝道師。特定非営利活動法人発酵文化推進機構 特任研究員。小笠原諸島振興開発審議会委員(国土交通省)。学校給食等地場食材利用拡大委員会委員（農水省）。ライターズネットワーク相談役。高知県観光特使。食の至宝 雪国やまがた伝統野菜PR大使（山形県）。香川県さぬきうまいもんプロジェクト実行委員会委員。日本ペンクラブ会員環境委員会副委員長。明治大学農学部食料環境政策学科兼任講師。フェリス女学院大学国際交流学部非常勤講師。

著書に『田舎力 ヒト・物・カネが集まる5つの法則』（NHK 生活人新書）、『里山産業論 「食の戦略」が六次産業を超える』（角川新書）など多数。

著作に37冊がある。ほかに企画・プロデュース・編集・共著作品30冊がある。

◎ホームページ <http://www.banraisya.co.jp/kanamaru/home/index.php>